

# 石州瓦のはじまり

— 品質と地の利をいかし全国へ —

# 石州瓦のはじまり

すべては  
浜田城築城から  
はじまりました





石州瓦のはじまり

石州瓦と  
深く結びついた  
石見焼



# 石州瓦のはじまり



## 石見焼の代名詞 「石見はんど」

最適な都野津層の良質の粘土と、  
出雲地方にある来待石を釉薬に使い、  
赤褐色の水ガメなどの大きな壺を中心に  
製造していました。

# 石州瓦のはじまり

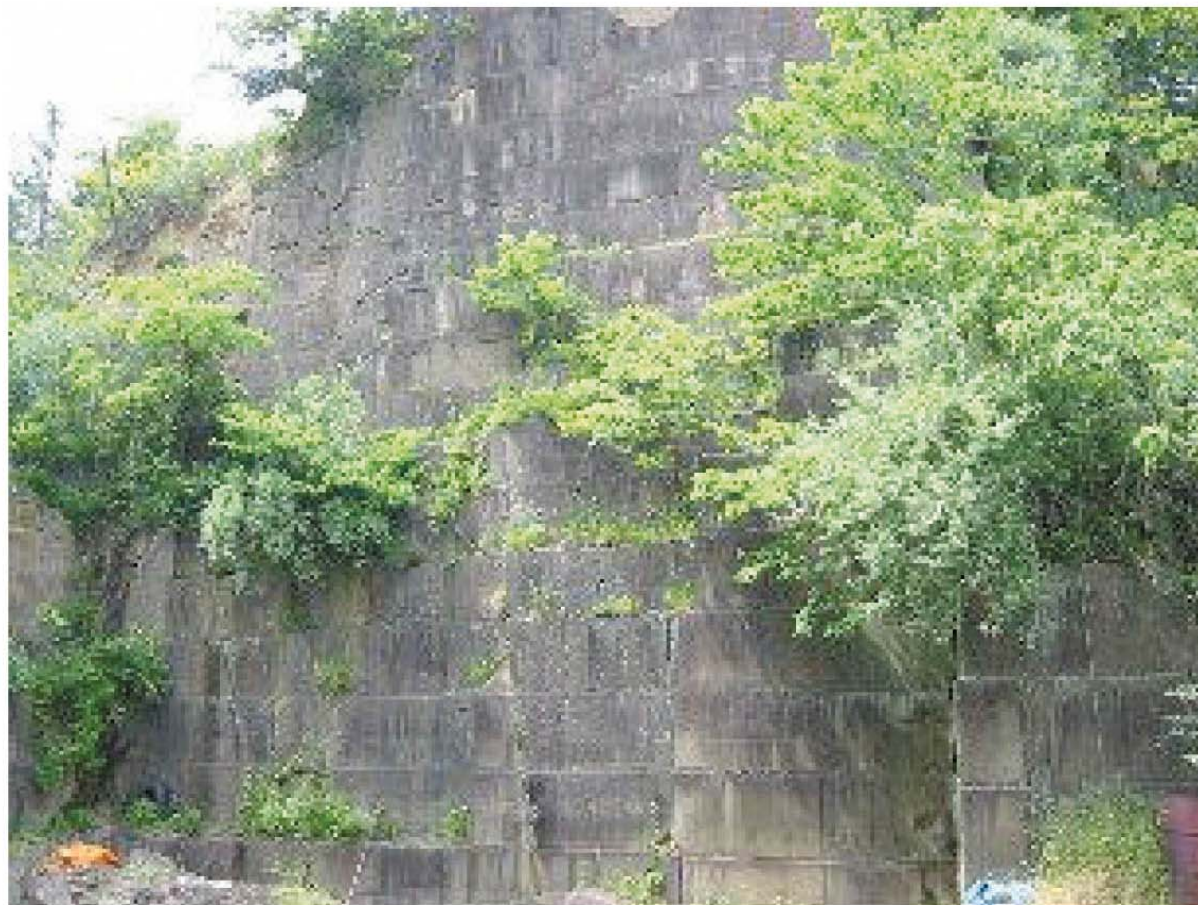


## 良質の陶土都野津層

都野津層からは石州瓦や石見焼の原料となる  
良質の粘土が採取できました。



# 石州瓦のはじまり



釉薬の原料

来待石

島根県東部で産出する来待石は  
釉薬としての最良の原料です。

# 石州瓦のはじまり

## 登り窯での焼成

台地状の地帯で  
海上交通の便がいい  
浜田市から大田市にかけての  
一帯を中心に  
窯が立地していました。





# 石州瓦のはじまり



## 高い焼成温度

1200～1300度の  
高温で焼成することで  
強い瓦が生まれます。



# 石州瓦のはじまり



## 北前船とともに 全国に広がった石州瓦

北前船によって運び出された石州瓦は  
遠くは北海道でも使われていました。



# 石州瓦のはじまり

石見焼職人によって  
はじまった石州瓦

石見焼の特性をいかして  
同じ原料、同じ製法で  
「石州瓦」が作り始められました。





暮らしに残る石州瓦

# 暮らしに残る石州瓦





# 暮らしに残る石州瓦



赤瓦が印象的な  
倉吉



# 暮らしに残る石州瓦



往時の面影を今に伝える  
大田大森



# 暮らしに残る石州瓦





# 暮らしに残る石州瓦





# 暮らしに残る石州瓦





# 暮らしに残る石州瓦





# 屋根の役割

根を張る屋と書いて屋根と読む。

古代の住居は、屋根＝壁＝つまり躯体＝家

雨露をしのぐ

風を防ぐ

寒さ・暑さを防ぐ

外敵から守る



# やねの役割



群馬県黒井峯遺跡の竪穴式住居の屋根は

勾配が30度

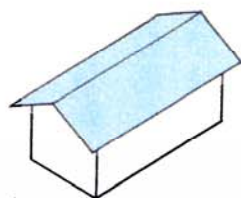
厚さ5センチの粘土葺き

にがりを入れて練り固め

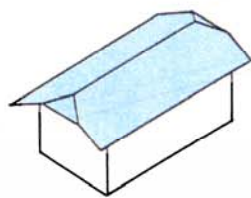
補強と断熱のために、下地と外側面に茅を張ってサンドイッチ

# やねの役割

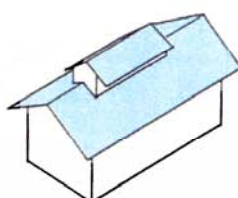
## ■多彩になった屋根の様式(形)



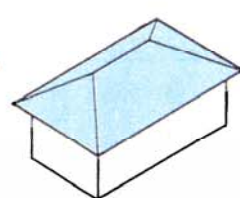
切妻



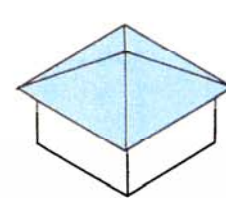
半切妻



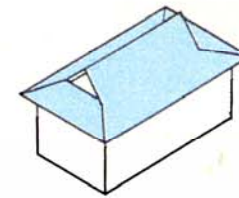
越屋根



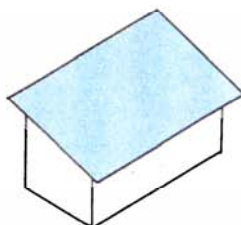
寄棟



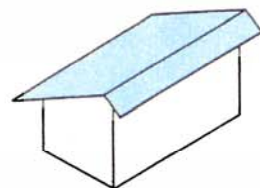
方形



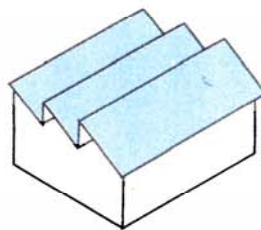
入母屋



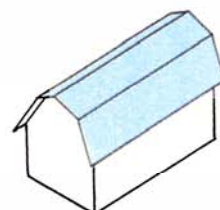
片流れ



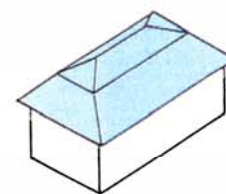
招き



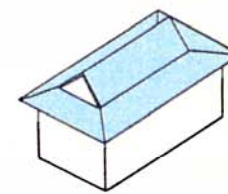
のこぎり



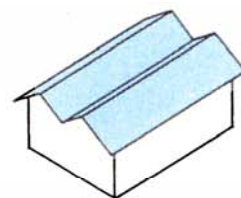
腰折れ



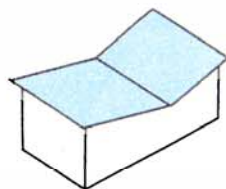
マンサード



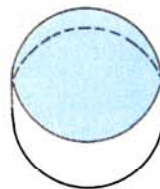
しころ



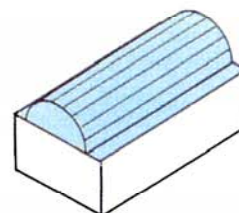
M形



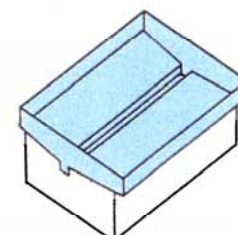
バタフライ



ドーム



ポールト



スノーダクト



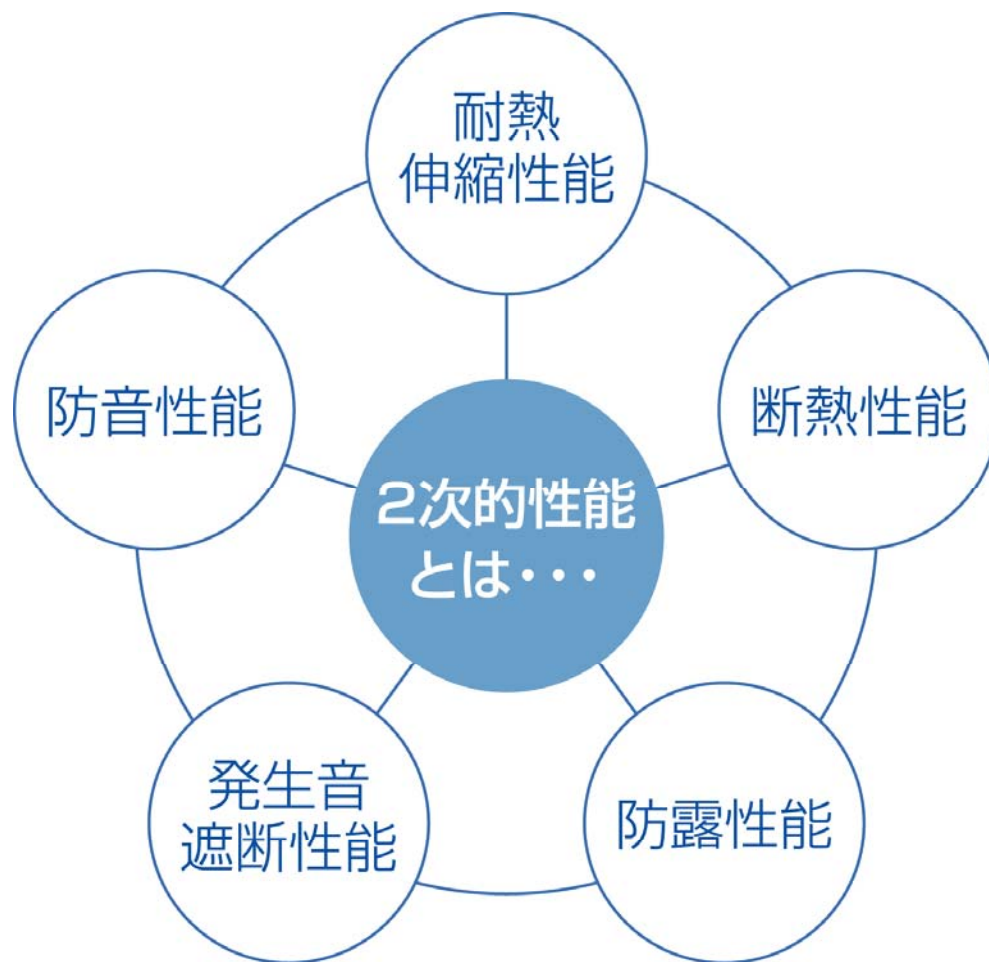
# やねの役割

## ■6つの基本性能



# やねの役割

## ■5つの2次的性能





# やねの役割

## ■屋根の性能と屋根造り内容との関係

屋根構法	基本的性能						二次的性能				
	防水性能	耐風圧性能	耐震性能	耐久性能	耐衝撃性能	防火性能	断熱性能	防露性能	防音性能	発生音遮断性能	対熱伸縮性能
粘土瓦葺	○	○	○	○	○		/	/	/		
プレスセメント瓦葺	○	○	○	○	○		/	/	/		
住宅屋根用化粧スレート葺	○	○		○	○		/	/	/		
繊維強化セメント板(スレート波板)葺	○	○		○	○		○	○	○	○	
金属板葺	○	○		○			/	/	/	○	○
折板葺	○	○		○			○	○	○	○	○
銅板葺	○	○		○			/	/	/	○	○
アスファルトシングル葺	○	○		○		○	/	/	/		

[注] ○：屋根構法ごとに、建築工事標準仕様書（JASS 12 屋根工事）で記述の対象となる性能事項

斜線：下地を用いる屋根構法において、下地の性能に依存する性能事項

無印：おおむね性能の具現が自明であり、建築工事標準仕様書（JASS 12 屋根工事）として記述を要しない性能事項

# やねの役割

## ■ 目的や地域によって異なる屋根の納め方

屋根の形状による違い(切り妻・寄せ棟・入母屋・方形・その他)

瓦の形による違い(本葺き瓦・和形棧瓦・S形瓦・F形瓦・その他)

建物用途による違い(寺院・武家屋敷・城郭・商家・農家・長屋・住宅・その他)

建築様式による違い(和風・和洋折衷・洋風・建物の外観スタイルによる)

地域による違い(温暖・多雪・強風・多雨・激震など気候や地質の違いによる)

地方による違い(暮らしの慣習・気質・文化の違いによる)



# やねの役割

## ■地域によって異なる屋根の納め方

温暖地域

いわゆる表日本といわれる地域  
東北の太平洋側・関東・東海・近畿・四国・九州

強風地域

房総半島・伊豆半島・紀伊半島・四国の太平洋側  
九州の海岸線全域・沖縄など離島

激震地域

関東・東海・北陸・近畿・山陰・三陸

多雪地域

いわゆる裏日本といわれる地域  
東北の日本海側・北陸・山陰・近畿や中部の内陸部